



建物鉛直面の日射遮蔽

照り返しを考慮した日射遮蔽装置

技術分野分類 5802：建築環境・設備

技術キーワード 熱環境、環境設計

産業分類 5514：室内装飾繊維品、5511：家具・建具

内 容	概 要	直射日光に加えて、散乱光、反射光や材料に蓄熱された熱の放出も含めた照り返し現象は、冷房負荷を増加させる原因の一つになっている。低層建築物ではこの照り返しを防ぐことで冷房負荷低減を図れると考えられる。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	従来の開口部における日射遮蔽は、全面を覆う（カーテン、ブラインド）、上部を覆う（ロールスクリーン）が、提案手法では、下部から引き上げる形の日射遮蔽装置である。これは、夏季の日射制御に加え、中間期における過剰な室内への熱侵入の防止、さらには目隠しとしても役割も担うことができる。
	本技術の 有用性	後付けが可能である 全面を覆わないため、室内の照度低下に繋がらない。 制御手法、設置方法などに、発展性を有している。
関連情報 (図・表・写真等)		  写真・イメージ図
適用可能製品		低層階の開口部
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	青木 哲（あおき てつ） (独)国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校 建築学科 准教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	総務課 企画・研究協力係 058-320-1213 / 058-320-1240 kenkyu@gifu-nct.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2016 年 11 月 24 日